

採択理由書

種目	発行者		採 択 理 由
	番号	略称	
特別の教科 道徳	116	日文	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や行事に沿った配列にしている。入学後に人間関係のトラブルが生じやすい1年の5～6月にいじめに係る教材を、2年は職場体験につながる教材を4月に配置し、3年は進路に係る教材を7月に学習できるように配置している。 ・各教材の末尾の「考えてみよう」の発問をもとに教材のねらいに達し、「自分に＋1」の発問によって、授業で学んだことを「前向きに自分に生かす」など、道徳的判断力や実践意欲と態度を育てることができる。 ・難解な言葉の注釈は、解り易い表現で示され、生徒の発達段階に配慮されている。 ・教材ごとに思考を整理するための工夫されたワークシートがあり、学習の振り返りや評価もできる。 ・全ての教材が右ページからスタートしていて区切りがわかりやすく、学習資料が見開きで読みやすい。 ・図版を大きく鮮明に配置し、迫力ある紙面構成となっている。 ・自然がテーマの教材は、写真の多用や見開き2ページで掲載などの工夫が見られる。 ・全学年で「いじめと向き合う」と明示し、重点的に扱っている。いじめを扱った教材を各学年5～7もうけ、集中的・継続的に扱い、定着を図れるようにしている。 ・有名人の実体験や加害者にとっても生涯続く後悔を生む行為であることなどを扱った多様な教材により、多角的・多面的にいじめを考えることができるものになっている。 ・その知識を実践につなげられるよう配慮したコミュニケーションスキルやアンガーマネジメントなど、自分のこれからの生活に役立つものとなっている。 ・キャリア教育、社会参画、共生、主権者教育をテーマにした題材を多く取り入れている。 ・よりよい生き方を考えるために先人を教材にしているものが多い。教材では各学年8名以上、その他のコラムでも各学年3名以上取り上げている。 ・大分県に関わりのある人の題材が掲載されている。 2年生の教材「行動する建築家 坂 茂」・・・大分県立美術館の設計者 3年生の教材「No Charity ,but a Chance」・・・「太陽の家」の創設者 中村 裕医師